

令和8年度『大学院紀要—文学研究科—』投稿論文募集要項

文学研究科では、『大学院紀要—第五十八輯—』に掲載する論文を下記により募集します。執筆希望者は、指導教員の推薦を受けて「論文題目届」を提出のうえ、論文を作成してください。紀要掲載の論文は個人の研究業績であり、各種奨学金への応募や奨学金返還免除申請の際の実績となります。奮って応募してください。

【掲載論文及び応募資格】

- ① 博士（前期・後期）課程在学者のうち特に指導教員から推薦のあった研究論文
- ② 博士前期課程修了者のうち特に指導教員および研究科委員会から推薦のあった研究論文
- ③ 博士後期課程単位修得退学者のうち特に指導教員及び研究科委員会から推薦のあった研究論文
- ④ 特別研究生のうち特に指導教員から推薦のあった研究論文
- ⑤ 特別研究員の学術論文
- ⑥ その他、史資料註解及び紹介

*応募資格を有する者の共同執筆および分担執筆を認める。

*①～③は指導教員の承認を受けること。

*英文可

【論文内容】各専攻分野に関する未発表の論文で、かつ他の雑誌等に投稿されていないものに限る。

【申請手順】

- ① 題目届(英文タイトル・要旨含む)：

令和8年7月1日(水)正午締切 (必ず指導教員の承認を得ること)

Forms から提出 URL: <https://forms.cloud.microsoft/r/LLfGNjnWNp>

- ② 原稿(要旨を含む)データ(USBメモリー)：令和8年9月11日(金)正午締切

*原稿を十分に推敲し、指導教員の閲読及び承認のうえ、大学院事務課に提出すること。

*題目変更の場合は、指導教員の了解を得て、再度「題目届」を提出すること。

*論文提出を辞退する場合は、指導教員の了解を得て、「辞退届」を提出すること。

*原稿提出後の加筆・削除・訂正は原則として認めない。

*執筆者の校正は原則1回とする。校正時の大幅な修正は認めない。(必要に応じて2校まで)

*掲載された論文については、國學院大學学術情報リポジトリ運用規程に基づき登録されます。

【原稿体裁】

- ① 20,000字以内(目次・註・表・図版等を含む)。

A4判電子データ(MS-Word形式)、縦書1,200字(60字×20行)、横書1,280字(40字×32行)の設定でプリントアウトした際、題目・要旨・本文・註・表・図版等すべて含めて17枚程度に納めること。

*提出された記憶媒体(USBメモリー)は返却しますが、データは事務課で保管します。

*印刷したものとWordファイルを提出。英文題目・要旨を入力のこと。(PDFのみでの提出は不可)

*図版、グラフ、別表等については、それぞれ元のデータファイル(Excel、Jpeg等)を必ず提出すること。

*電子データのファイル名に必ず本人の氏名を入れること

*体裁が守られていない原稿は受理しません。特に字数(枚数)の超過は厳に慎むこと。

- ② 「章・節等の小見出し」「注・註」等は、原稿提出時に付記(完成原稿を提出のこと)。

- ③ 【論文要旨】を400字程度にまとめ、五つのキーワードを指定し「傍線(下線)」および「ルビ」を付すこと。なお、この論文要旨、キーワードは論文本文の冒頭部分にも記載すること。

【査読基準】

論文は、研究倫理の厳正な遵守を前提とし、査読は、以下の基準にてらして総合的な視点で行う。

- ① 先行研究の評価：現行の研究水準が、公正に反映されているか

- ② 有用な問題提起：学問的に論じる有効性はあるか

- ③ 適切な文献・データの使用：使用する文献・史資料・記録・データ等は正確で信頼性が公認されているか

- ④ 確実な論証過程：提起から結論に至る立論に、論理一貫性が見られるか

- ⑤ 妥当な結論：結論に説得力があるか
- ⑥ 課題の指摘：不完全な部分への自覚があるか
- ⑦ 発展性：今後の研究の展望が開けているか
- ⑧ 用語の適切さ：学術用語・専門用語の用法、また文章表現が不穏当ではないか
- ⑨ 新規独創性（後述のすべてまたは、いずれか）：・独創的見解が示されているか、・新しい知見や解釈が見られるか、・論文の全体または一部に新しい視点・手法が見られるか

※ 応募多数の場合は、編集委員会の判断で辞退を要請することがあります。

【査読結果発表】令和8年10月下旬（予定）

【掲載論文発表】令和8年12月上旬（予定）

【校正】令和8年12月～令和9年1月

【発行】令和9年2月末予定。掲載者には抜刷（製本したもの）を50部進呈。

問合せ先：大学院事務課<daigakuin-j@kokugakuin.ac.jp> Tel:03-5466-0142